

企業探訪

障がい者を応援、支援企業紹介

日本理化学工業株式会社

川崎工場:本社
神奈川県川崎市高津区久地2-15-10
TEL:044-811-4121 FAX:044-811-4441

美唄工場
北海道美唄市東明2条3-2-10
TEL:0126-63-4241 FAX:0126-63-4242



棒状に形成されたチョコレートの切断を担当する中山文章さん。いつも周りを笑顔にしてくれます。

を持って、自分ができる技術を磨き、共に定年まで勤めあげて行こうというのが、我が社の理念です(雫さん)

この雫さんの言葉通り、3年定着率はほぼ100%。勤続10年ごとに表彰されるのですが、40年の表彰を受けた人が今も元気に働いています。

同じ作業をし続ける集中力は職人と呼ぶにふさわしい

工場の1階では、取材当日は黄色いダストレスチョコが作られていました。機械音の響く中で、黙々と自分の作業を



それぞれの理解力に合わせて工程が組まれています。

従業員の7割が知的障がい者、3年定着率はほぼ100%!

誰でもが一度は手にし、黒板に書いたことがある「チョコ」。日本理化学工業は、昭和12年に設立され、日本のチョコレートのシェア70%を占めるトップメーカーです。川崎工場と、北海道の美唄工場^{びい}で生み出されるのは、ホタテの貝殻の微粉末を配合した粉の飛散が少ない「ダスト

レスチョコ」と、新たに開発されたガラスやホワイトボードなどつるつるとした素材に発色良く描くことができ、濡れた布で簡単に消すことができる「キットパス」。

そしてこれらを製造している作業員のほとんどが、知的障がい者です。全社員数は93名で、療育手帳を持つ知的障がい者は65名(うち重度知的障がい者は25名)です。から、障がい者実雇用率は100%近くになります(2022年11月現在)。



作業の流れを確認する堤祐人さん。

障がい者の雇用は昭和35年、養護学校の先生の熱意から職場体験で入った2人の知的障がい者から始まります。与えられた仕事を真摯に果たしている姿を目の当たりにした当時の社長(故・大山泰弘氏)は、理解力に合わせた

仕事の方法を考えてあげれば、健常者に劣らない戦力になってくれると確信。知的障がい者を主力にした会社経営を始めたそうです。

「当社は障がい者雇用を目指していたのではなく、会社にとって必要な人材だから雇用しているうちに、社員の7割が障がい者という現状に至ったわけです」と広報の雫^{しずく}さん。

最初に採用された2人は、65歳まで働いていたという。「50年近く勤めてくださった我が社のレジェンドです。新規雇用に当たっては、この会社で60歳まで働く覚悟を持って欲しいと伝えていきます。やりがい



出荷担当チームの今年の目標です。「ありがとう」ができた時にリボンを貼ります。言葉での表現が苦手でもリボンなら伝えられるのです。



続け、止まることはありません。速くもなく遅くもなく一定の速度で、正確に手が動いています。でもそれは機械とは違う、熟練の職人の動きを連想させます。「彼らの集中力は、凄いとしか言いようがありません。これは彼らの能力だと思っています。私たちでは到底続かないでしょうね(雫さん)」

粘土状になった材料を同じ長さに切断している中山文章さんに、仕事は楽しいですかと質問すると、「今の仕事は好きで、ずっとやりたい。でも新しい作業にもチャレンジしたい」と笑顔で答えてくれました。

作業全体の流れを確認していた堤祐人さんは「みんなの作業をしっかり見



「キットパスミディアム24色」は2022年キッズデザイン賞で「奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞」を受賞。



キットパスの箱の組み立て。紙巻きや箱詰めなども丁寧に手作業で行われています。

て、報道相^あできるようになるのが目標です」と言うのと、機械に向かって歩き出しました。その背中からは「働く充実感」が伝わってきます。

2階のキットパスの作業場では、箱詰め作業などが行われていました。「キットパスに紙を巻いたり、箱詰め作業も機械に頼らず人の手で行っています。機械化で人員を削減するよりも、人の手で行う方が美しくできるということを当社は大事にしていきたいのです(雫さん)」

障がい者雇用にこだわり、障がい者に支えられながら、世界に進出していきける力を持った企業として、今後の展開が期待されています。

1名様 PRESENT

キットパス ミディアム16色

詳しくは30ページ



商品企画部/広報 雫 緑さん



(左) (株)ウイル・コーポレーション 若林 圭太郎社長

若林社長…今、障がい者は1000万人ぐらまで増えてきたと思いますが、実際に働いている方、あるいは働く意欲がある方は約半分の500万人といわれています。一方で、実際に働いているのはその約12%で50〜60万人。つまり、ほとんどの方にとって働く場所がない。まさにこれが障がい者就労の実態かなと思っています。

永野…それでも、5年前と比べれば、働ける場所が増えてきたと思います。特

障がいがあるうとなかろうと、社員はみんな幸せに！

「一般財団法人メルディア事務局」永野 周平と「(株)ウイル・コーポレーション」若林圭太郎氏が語る



総務人事担当 本多 留美部長

welco 安心品質を。
株式会社ウイル・コーポレーション

「令和4年度障害者雇用優良事業所」石川県知事表彰受賞企業と障がい者雇用を考える

障がい者の雇用安定を目的とした「障害者雇用促進法」では、常時雇用の労働者数が一定数以上の民間企業は、2.3%（2021年3月以降）の障がい者を雇用しなければならないことが定められています。

ところが現状は、雇用率を満たしている企業は50%にとどまっています。



石川県知事表彰での若林社長と馳浩知事

に「障がい者雇用数にカウントされない超短時間勤務を実施する」など、先進的な考えの企業が増えてきているのはうれしいことです。東京都は、障がい者が必要なサポートを受けながら、他の従業員と一緒に働く「ソーシャルファーム」という活動を行っています。メルディアが目指しているのも、多くの企業が障がい者を垣根なく受け入れてくれる社会です。

若林社長…私は雇用する企業の立場ですが、正直、障がい者のために雇用枠を作っているという思いはありません。雇った社員がたまたま障がいを抱えているだけ。そして、雇用した以上は、みんな幸せになって欲しいと思います。今回「令和4年度障害者雇用優良事業所」石川県知事表彰を受賞したと連絡を受けたとき、一瞬、意味が分かりませんでした。積極的に雇用してきたわけでもありませんし、受賞しようとして一生懸命活動してきたわけでもないからです。本多部長が言った「会社として特別なことは何もしていない」という言葉は、その通りなのです。

永野…障がい者と普通に接する。それが御社で定着率が高い理由だと思います。実は、長期就労は障がい者雇用の課題な

積極的な障がい者雇用により石川県知事表彰を受ける

(株)ウイル・コーポレーションで総務人事を担当する本多部長は、受賞理由について「今回は、障がい者雇用を安定的に行っていると同時に、雇用を守っているということ、石川県知事表彰を受けました。評価されたのは、11年間法定雇用率を上回っていたのみならず、4年連続で3%以上の雇用率を維持している点を含む、さまざまな取り組みだと伺っています」と話してくれました。

現在、計8名の障がい者が制作や製本加工を担当。「障がい者が、適性に合った部署で働いています。障がいによって不得意なことはありますが、周りがそれをフォローすることで、問題なく働くことができます。会社として、過度な特別扱いはしていません」入社当初は1日3時間の就労からスタート。それを徐々に伸ばして、最終的に1日8時間労働に。「仮に途中で体調が悪くなったら、一旦、切り上げていただき、弊害になっている要因に対応し、体調にに応じて時間を延ばしていくという対応を行っています」加えて、製本加工工場では、いち早く危険が察知できるようにとパトライトを設置。本多部長は「精神障がい者は細かな注意が不得意だからという理由で設置したのですが、結果的にこれは、



一般財団法人メルディア事務局 永野 周平

特別な配慮はしないけど、必要な支援はする

若林社長…我が社では、人間関係作り、社内風土作りの一環として、ハートビーイングという活動をしてきた時期があります。ハートの内側に人からされてうれしかった言葉や行動、外側に嫌だった言葉や行動を書きます。「頑張つて」という言葉は、人によってはプレッシャーになりますから、書き出すことで相手の考えが分かるようになります。

永野…障がい者への考え方もまさにこれです。配慮とは、その方が嫌なことはやらないで欲しいということですから。

若林社長…同じ障がいを持たれていても、一人ひとり違いますから、ハートビーイン

働く社員全員の安全に役立っています」と、障がい者に優しい会社作りは、社員全体にとって優しい会社作りになっていくと教えてくれました。

障がい者雇用で優しくなる社員の心と社内風土

障がい者雇用におけるウイル・コーポレーションの特徴は、定着率の高さにもあります。精神障がい者の1年定着率が50%を切る中、20年近く働いた方もいるほど。「なるべく本人が希望する形で雇用してきた結果」と本多部長。

加えて、障がい者雇用には社員の理解が重要だと言います。「当初は、障がい者と働くことで、自分達が大変になると誤解している社員がいたことも事実です。そこで、理解を促すために、『精神障がい者について』や『聴覚障がい者について』など、さまざまな社内研修を行って、理解を深めていきました。聴覚障がい者と簡単な挨拶ができるようにと、朝礼で手話講座を行っていたこともあり。最近では、手話ポスターを掲示しています」とのこと。障がい者雇用の成果を「社員の言動をみていると、障がい者と接することで、相手を思いやるのが当たり前になり、私たちの心は豊かになるのだな」と、思います。障がい者雇用の推進は、社内風土作りにも良かったのではないのでしょうか」と振り返ります。

グで内側を知ることが役に立ちました。

永野…「特別な配慮はしないけど、必要な支援はする」この考え方をしてくれる企業がどれだけ増えるかで、これからの障がい者就労は変わっていくのだと思います。

若林社長…障がい者の法定雇用率を守っていない企業が、まだ53%もあります。でもその多くが、雇用したあと、どうしたらいいか分からないのではないのでしょうか。私は情報を求める企業に向けて、自社での経験を含めて情報発信をしていきたいと思っています。

永野…例え障がいがあっても、働きたい人が、働く場所を選べるようになれると良いですね。



(株)ウイル・コーポレーションのハートビーイング。



晴れの日にはソラ
サイクルもおすすめ

ジョンレノンも愛したカフェ 離山房

木々が生い茂る自然豊かな景観を活かした中軽井沢のカフェ。木の温もりに包まれながら、コーヒーとケーキでほっと一息。



〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-96
http://www.rizanbou.jp
※11月末～3月末までは冬季休業

上質で素朴なセレクト品に囲まれたcoriss

旧軽井沢銀座通りの賑わいを抜けた路に佇む雑貨屋。暮らしにずっと馴染むような商品をオーナー夫婦が直接買付け。築100年以上の建物が趣きを醸し出している。



〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢10-2
https://www.coriss.jp



おさんぽ DE 楽しむ!

～冬も心温まる軽井沢の人気スポット～

旧軽井沢銀座で70年以上続く老舗、フランスベーカリー

初代からの精神と味を忠実に受け継ぎ、今も人々に愛されている。人気は定番のフランスパンとイギリスパン。70周年記念バッグが発売中!



〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢618
https://french-bakery.co.jp



ガラス細工を体験 軽井沢ガラスギャラリーアームス

季節や天気に関わらず楽しめるガラス細工体験工房。とんぼ玉や箸置き、マドラーなどのモノづくり体験メニューが用意されている。スタッフが丁寧にサポートしてくれるので、ハンディキャップがある方でもオリジナル作品の製作を楽しめる。



〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉664-6
http://www.karuzawa-arms.com/index.html

世界に一つ、私だけのとんぼ玉を作ろう!

ガラスを溶かしながらくると棒を回す姿は真剣そのもの。自分で作るとんぼ玉は、ただ買うだけでは味わえない大切な宝物になること間違いなし。



1 ベースになるガラスの色を選んだら、ガラス棒をバーナーで温め溶かす。



2 溶け始めて赤くなったガラス棒の先端を、芯棒にくると巻き付ける。



3 模様となるガラス片の上に、丸く整えたガラス玉を転がして色づける。



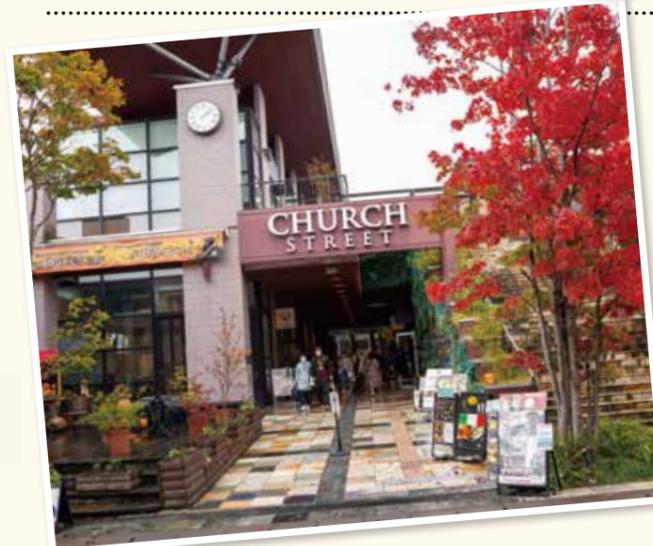
4 再びガラス玉をバーナーで温め、ガラス片を溶かして模様にする。



5 火から離れた後もガラスが固まるまで芯棒をくると回し続ける。



6 灰の中で1時間ほどしっかりと冷まして完成!

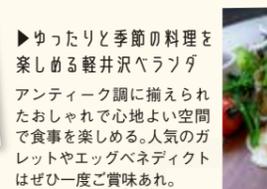


買い物もお食事も チャーチストリート

旧軽井沢銀座通りのシンボルとなっているショッピングモール。雑貨やアパレル、カフェ、レストランと多彩なお店が並び、季節イベントも目白押し。



◀素敵な作品と出会う、旧軽アトリエ
40名程の作家によるキュートで洗練された雑貨が並ぶ。小物、バッグ、ストールなど、自分の気に入ったものを見つけに来ては?



▶ゆったりと季節の料理を楽しむ軽井沢レストラン
アンティーク調に揃えられたおしゃれで心地よい空間で食事を楽しめる。人気のガレットやエッグベネディクトはぜひ一度ご賞味あれ。

各1名様 PRESENT

- ① フランスベーカリー オリジナルトートバッグ
 - ② ガラス箸置き
 - ③ 折り紙セット
- 詳しくは30ページ



国内でも有数の行楽地、軽井沢。今回はJR軽井沢駅近くの「旧軽井沢」とそのお隣「中軽井沢」エリアにスポットを当てて、お店をご紹介します。定番の旧軽井沢銀座通りには、ベーカリーやお菓子、雑貨屋などがずらり。地元民のみならず、多くの観光客でも賑わっています。高原の地を活かし食材からこだわった料理や、厳選された作家による作品など、手に取れば人の想い・温もりを感じる一品に出会えます。

今回特にご紹介したいのはガラス細工体験ができる「軽井沢ガラスギャラリーアームス」。散策だけでなく「作る」楽しさも体験してみませんか? スタッフの手厚いサポートがあるので、障がいのある方も心置きなく自分の作品づくりができます。

人々の温かさに触れながら
冬の軽井沢を巡ってみよう





療育センターなどのケア施設

○療育センターとは?

療育センターとは、障害のある子どもに対し、それぞれに合った専門的な治療・教育を行う機関のこと。障害の疑いや診断が出たら真っ先に訪ねるケースが多いと思いますが、施設ごとに治療・教育の方向性やスタイルが異なるので、子どもに合う場所を選ぶことが大切です。

○受けられる主なサービス

〈診察〉小児科、児童精神科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科などの外来診察を受けることができます。発達障害のある子どもは音や明るさ、皮膚への刺激に過敏なこともあります。一般の病院と違ってそれらに対応できる態勢も整っているので安心です。診察後は、個別または集団での療育も行われます。

〈療育〉個別療育では、発語やコミュニケーションの練習をする言語聴覚療法、作業を通して手指や腕などの動きを訓練する作業療法、起き上がる、座る、歩くなどの基本的な動作の発達を促す理学療法などが行われます。集団の場合は、集団ならではの刺激や喜びを通して発達を促すプログラムが用意され、親子遊びなども行われます。

〈相談〉療育センターの相談窓口では、ソーシャルワーカーに個別でさまざまな相談をすることができます。子どもに必要な医療や訓練といった療育相談をはじめ、日常における子どもとの関わり方や障害の捉え方、経済的な問題、家族の問題など幅広い相談に応じてくれるので、障害児の保護者の心強い味方となっています。



障害児に対しては、児童福祉法に基づくさまざまな福祉サービスがあり、よく耳にする「療育センター」もそのひとつ。障害の状態などにより利用できる内容は異なってくるので、事前に下調べをしておきましょう。

○各施設的作用

障害児へのサービスは、施設に通って支援を受ける「通所系」、障害児が通う保育所や学校などを訪問して集団生活への適応を支援する「訪問系」、施設に入って支援を受ける「入所系」の3つに大きく分けられます。下記を参考に、利用できるものを市区町村の福祉相談窓口にご相談しましょう。

通所系	訪問系	入所系
児童発達支援 発達障害、知的障害、難聴、肢体不自由、重症心身障害などのある障害児が対象。日常生活における基本的な動作の指導や、自活に必要な知識や技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を受ける	医療型児童発達支援 治療が必要と認められた知的障害児や肢体不自由児、重症心身障害児が対象で、児童発達支援に加えて治療が受けられる	福祉型障害児入所施設 身体または知的、精神に障害のある児童が対象。施設に入所し、食事や排せつ、入浴の介護や日常生活の指導、身体能力向上のための訓練、社会参加活動支援などを受ける
放課後デイサービス 身体または知的、精神に障害のある就学児童が対象。授業の終了後または休校日に、児童発達支援センターなどの施設で、生活能力向上のための訓練や社会との交流促進などを目的とした支援を受ける	保育所等訪問支援 児童指導員や保育士・理学療法士などに、保育所・幼稚園・小学校などを訪問してもらい、集団生活に適應するための専門的な支援を受ける。平成30年より乳児院と児童養護施設も訪問の対象に	医療型障害児入所施設 福祉型障害児入所施設の支援に加えて治療を受けられる。低年齢であり、親とともに入所させることにより療育効果が得られると認められる児童を対象に、親子入所が設けられている施設もある

うちの子、へん?

発達障害・知的障害の子と生きる

漫画エッセイ『うちの子、へん? 発達障害・知的障害の子と生きる』では、息子である「ぼんちゃん」に障がいの診断が下されてショックを受ける著者・吉田可奈さんに、「腹をくくって、給付される各種手当を子どものために徹底活用すべき」と友人が熱弁をふるう。「何が何でも我が子を幸せにする!」と心に決めた吉田さんは、各種の手当について勉強し、割引などのサービスを利用して子どもたちのためにアクティブに行動する。

3名様 PRESENT

うちの子、へん? 詳しくは30ページ



猫の名前を答えていたくらいだ。あの時ばかりは猫の名前をもっとおしゃべりにしておけばよかったと思っただけだ。

当のぼんちゃんとは言うのと、何を言われてもニコニコと笑顔を返すが、紙の上にある動物に指を向けようともしない。きつと、なにかを指差すという概念がまだないのだ。

さらに、「積み木を重ねて」と保健師さんが積み木を渡すと、それをどろんどろん投げては笑っている。息子は、物も積み重ねれば、指も差せない。ただ、物を投げる力だけはすごい。肩が半端なく強い。おしっこをしたあととパンパンになったおむつを脱ぎだしたかと思えば、振りかぶって投げてくる。ゴリラか？ゴリラなのか？その速度は相当なもので、当たったら痛い。

すごい剣幕で「おむつは投げるものじゃない！」と叱ると、一気に顔をくしゃくしゃにして泣きまねをし、ひざに駆け寄って抱き着いてくる。そんなことされたらもう許すしかない。だって！かわいんだもん！当時5歳だったみいちゃんはこの繰り返しを見て「どうせかわいだから許すんでしょ？」と斜め上から見ていた。そうだ。かわいいは正義だ。

しかし、ここは公的な場。私は保健師さんに何度も謝りながらも「積み木は練習するものなのか？それとも、だれもが自らOTと呼ばれる作業療法を週に1度受けることとなった。保育園に通いながら、朝の1時間を費やすことになる。私がフリーランスの仕事だからこそできることだが、これを週1で平日に行くとすると、普通の会社員では難しい。療育のために、仕事をパートにするママも多いことだろう。療育をしたほうがいいという判断が下ったら、親も、新たな道を迫られる。これもまた、難しいところだ。

保育園にそのことを告げると、ぼんちゃんが発達遅延に気づいてくれた先生が「やれることはなんだったってやったほうがいいわよ！」と背中を押してくれた。そうだ、この子のために、なんだったってやれることはやってあげたほうがいい。結果はやってみなくちゃわからない。その日から、週1回、多いときは2回、療育センターに行くことが決まった。

ぼんちゃんが療育センターに通い始めると、同じ時間に会う親子のお友達が増え始めた。この療育センターでは、作業療法・言語療法、ともにマンツーマンで行ってくれるため、療育が始まる前の数分しかほかの子たちと接する時間はないのだが、その男の子はいつも同じ時間に、同じベンチで待っていた。その子は、小学生と見間違えるくらい

然とできるものなのか？」と考え込んでしまった。みいちゃんは教えずとも、なんでもできていた。トイレを覚えるのも早かったし、積み木を重ねるのもすぐにできた。そんな成長は当たり前だと思っていた。でも、ぼんちゃんにとつて、それは決して当たり前ではないのだ。

「療育センター」は「違う世界」と思っていた

その後、保健師さんと、長い話が始まった。これからどうすればいいのか。この子を育てるために困ることはないか。保育園はどんな対応をしてくれるのか……。その後、まず、「療育センター」に行くことを勧められた。

私の住む街には、丘の上に、大きな療育センターがある。まさか、自分がそのお世話になるとは思ってもいなかった。はつきり言って、最初にその療育センターの名前を聞いたときは、どこか戸惑いがあった。その療育センターの名前が書いてあるバスには障害のある子どもたちがいつも乗っていて、存在は知っていた。でも、まさか、自分の子どもがお世話になるとは思っていなかったのだ。

誤解を恐れずに言えば、「違う世界の人たち」だと思っていた。でも、今ならわかる。その存在と接したことがないからこそ、自分のなかに、壁を感じていたのだ。でも、ぼんちゃんのために、私を感じ

大きい、ぼんちゃんより一つ年上の4歳。お母さんの話を聞くと、彼は身体はとも大きいけれど、知能の遅れがあるから、すべてがアンバランスなのだと思えてくれた。ぼんちゃんのように、3歳なのにまだ1歳ちょっとしか見られない、言葉の出ない小さな子もいれば、4歳なのに7歳くらいに見えて、でも知能が2歳程度という子もいる。本当にバラバラで、まさにこれが、「個性」なのだ。

でも、その子も驚くほど人懐っこく、ぼんちゃんとうとう「ぼんちゃんきたねー！ぼんちゃんー！」と話しかけてくれる。ぼんちゃんも嬉しそうに、楽しそうにじゃれあっている。この風景はとても微笑ましく、すごくすごく、あたたかかった。

「ほかの子と同じことができない」でも保育園に通えるの？」

その子はすでに4歳なので、幼稚園の制服を着ている。水兵さんのような制服が、とても似合っていてかわいかった。その姿に「かわいいですね」とお母さんに言うのと、「でしょ」とはにかんだ後、「そういえば、ぼんちゃんはこの幼稚園に入るの？」と聞かれた。ぼんちゃんは0歳の時から保育園に通っている。そのことを話すと、彼女は「保育園って療育に通っている子も見えてくれるの？」と聞いてきた。

私は一瞬、「え？」と驚いた。ハンデのある子が、普通に幼稚園や保育園に通える壁や、正直に言ってしまえば「拒否感」は絶対に必要ない。私が戸惑ってはいけない。そして、私がぼんちゃんのために必要なことを、絶対に排除してはいけない。だって、私はぼんちゃんのためだけに親なのだから。

3歳児健診のあとすぐに、療育センターに電話をかけた。すると、次の診察予約はなんと半年後しか空いていないという。それほどまでに療育に通う子どもが多いことに驚いたが、すぐに療育を受けられないことにも驚いた。発達障害は病気ではないが、病気になる時と同じで、すぐに行動を起こしたい。すぐに診察してほしい。と思うのが普通だろう。だからこそ、この半年はものすごく長く感じた。でも仕方がない。途方もなく長く感じられた半年後、ついに療育センターで初めての面談が始まった。

診察はまさかの半年待ち

順番が来て名前を呼ばれ、息子と一緒に診察室に入ると、見てすぐに小児科の先生とわかるような、キャラクターのボールペンをポケットに挿した、優しいような女性の先生が迎えてくれた。そこで、これまで病院で何度も話してきたぼんちゃんの状態、近況を話すと、ゆっくりとメモを取りはじめた。常に笑顔で

息子の長所を「障害」と言っ病院……

順番が来て名前を呼ばれ、息子と一緒に診察室に入ると、見てすぐに小児科の先生とわかるような、キャラクターのボールペンをポケットに挿した、優しいような女性の先生が迎えてくれた。そこで、これまで病院で何度も話してきたぼんちゃんの状態、近況を話すと、ゆっくりとメモを取りはじめた。常に笑顔で

ぼんちゃんを通していた保育園は、発達の遅れや障害がある子には加配(障害児担当の保育士)の先生をつけ、預かってくれるシステムになっていた。そのため、それが普通だと思っていた。私が住んでいる場所の認可保育園はとても寛容で、同じ保育園には脳性麻痺で自分では動けない子や、ダウン症の子どももクラスメイトとして一緒に在籍していた。

でも、幼稚園やほかの保育園では、システムも違うのだろう。たしかに、医療行為が必要でなくても、ハンデがある子や、発達のスピードが違う子を受け入れることが難しいのは、わかる。パニックが起きたり、痙攣が大きすぎたりすれば、ほかの子に影響を与えてしまう。でも……と「ごちゃごちゃ考えている私の困り顔に気づいたのか、」でも、今の幼稚園はすごく過ごしやすいから、結果オーライなの」とそのお母さんはほほ笑んでくれた。



コロナ禍の影響で、自分がとても尊い仕事をしていると痛感

人前で歌えることは、 「平和の象徴」

シンガーソングライター 水越けいこ



長いコロナ禍で変化した
私たちの新たな「価値観」

2023年。世界中の人たちが、新型コロナ



ロナウイルス感染症(以下、コロナ)の猛威と闘う生活も、3年以上という長い時間となってしまいました。とても苦しくはありますが、コロナが原因で命を落と

してしまった方もいる状況なので、我々のように、こうして新たな毎日を過ごす事ができるだけで幸せな事であり、感謝しなければならぬと思っています。

このコロナ禍で、生活の内容は大きく変わりましたが、私自身が一番変わった事という、「価値感」だと思います。当たり前だった事が、当たり前でなくな

たつもりでしたが、このコロナ禍で思い知らされた事が沢山ありました。

す。自分に素直になれたとも感じます。

たという昨今、表面的には「有ったものを失くしてしまった感情」に近いですが、逆に言えば、新たな価値観が生まれた気がするので。

そのひとつがコンサートの開催です。歌を歌うという事は、金銭や時間の制限を別にすれば、比較的、自由に行えること認識していました。しかし、全く違いましたね。コンサートとは、あくまでも平

昨年には本当に色々な事がありましたね。明るいニュースばかりではなかったと思います。こうして昨年は振り返っている間にも時間は進み、我々の人生のゴールは近づいてきます。

その理由をいくつか述べたいと思います。コロナ禍になった頃から、我が家の習慣が一つ増えました。それは息子の麗良の熱を毎朝測る事です。これは息子が通う作業所からの依頼で、コロナを通過先で広めない為の策となっています。

時々の娯楽であり、平和の象徴でもあるのですね。だからこそ、その瞬間を大切にしなければなりません。もし、たった一曲だったとしても、人前で歌えるという事は、とっても尊いことなのだ、今では心からそう思います。

コロナ禍になり始めた頃「ちょっと落ち着いたら会おうね」とか「コロナが落ち着いたらぜひ出掛けよう！」などと、よく口にしりましたし、耳にもしました。しかし、その様な楽観的な考え方、即ち時間に関する「価値観」も、今こそ見直すべきかとも思います。人は老いていくものであり、人生は有限ですから。

休日でも欠かさずにチェックして、情報作業所と共有しているのです。一見、なんでもないこの習慣ですが、息子の体温を確認するついでに、母親である私の体温も自然に測るようになりました。

私たちが親子は、幸いにして沢山の友人がいます。皆、大切な人ではありますが、その中でも、特に私たちが愛してくれている人、また、私たちが愛している人の顔を、はつきりと思い浮かべるようになりました。

今を自分らしく精一杯生きる事が、一番大切なかも知れませんね！

また、仕事への価値観が大きく変わりました。私はシンガーソングライターですので、作詞、作曲した作品を歌っているのが生業です。

コロナ禍前までの付き合いでは、お互いに在って当たり前存在だったので、時には長い間会わなかったり、また、ちょっととした心のすれ違いで、連絡を避けてしまったり、一時的にそんな関係になってしまった人も正直いました。

ですが、このコロナ禍という危機の中で、自分自身の心の奥と向き合う時間が増えた事により、友人知人一人ひとりの存在を確かめる事ができたのだと思いま

長い間この仕事を続けてきた事は、とつても幸せなんだと充分に判っている

存在を確かめる事ができたのだと思いま

す。

PROFILE

水越 けいこ
シンガーソングライター。1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を行っている。

<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>

障がい者支援事業 2つの障がい者支援

情報発信

障がい当事者や障がいのある子どもを育てる親や保護者を支援することを目的として、障がい福祉関連情報の発信と、障がいに関する社会的認知向上に寄与するべく広報誌「MELDIA」を発行しています。

ご家庭で出来る支援や外出機会の創出、福祉サービスの情報、障がい当事者やかかわる人々が「明るい未来」を創造出来るよう、情報発信を通じて支援を行ってまいります。



定期購読申込



直接支援

—あなたの「不安」を「可能性」に変えたい。
私たちメルディアでは、「職業能力評価」や「就労訓練」を通じて一緒に悩みや問題を解決し「働くこと」への不安を払拭するためのお手伝いをしたいと考えます。

できることを知り、できることを増やし、自身がやりたいことに取り組める未来を実現するための直接支援が提供できるよう、新たな直接支援サービス「メルディアトータルサポート」を開設し、安心して就労に向かうためのサポートを行っています。



〒110-0005 東京都台東区上野6-2-14喜久屋ビル3F
TEL : 03-6284-4180

青少年スポーツ支援事業

奨学制度

一般財団法人メルディアでは、個々が置かれている事情、経済的な理由からプロ選手を目指すことを諦めざるを得ない児童、生徒、青少年らの「夢」の実現を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。

奨学生の中でもユース時代から活躍してきた田中聡選手が、奨学生から初のプロ選手として「湘南ベルマーレ」とプロ契約を果たし、2021年からトップリーグでチームの中心選手として活躍しています。

2022年からは田中聡選手に続き、原直生選手がプロ契約しトップリーグの舞台へ羽ばたいています。



©GHONAN BELLMARE

お問い合わせはこちら



一般財団法人
メルディア
Meldia Foundation

〒163-0632
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア
事務局 宛て
TEL : 03-5381-3213
MAIL : org@gf-meldia.com

ホームページ

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報を掲載しています。Twitterでは湘南ベルマーレ観戦チケットプレゼントやスポーツ支援情報を発信しています。是非、ご覧ください。

ホームページ



<https://meldia.org/>

Twitter



https://twitter.com/gf_meldia



メルディアではご協力いただける企業、団体、個人を募集しています

人と社会と福祉をつなぐ

一般財団法人メルディアの活動を支える言葉のひとつが、「人と社会と福祉をつなぐ」という言葉です。

障がいのある方やそのご家族は、福祉に関する情報が一般のツールに載りづらいこともあり、情報を手に入れるのに困ることも多いと聞きます。

広報誌の制作発行、支援施設運営、イベント開催を通して出来るだけ多くの方に情報と支援を届けること、これがメルディアの行う支援です。

新たなつながりを通して

昨年10月に開催し、今号でも特集記事を掲載している「メルディアフェスタ」で直接には福祉と関わりのない企業様からイベントの意義に賛同いただき、協賛を得られたことは私たちの活動にとって大きな前進だと考えています。

当日、イベントの進行を見ていた担当者の方から、「今までこういう活動があることを知らなかった、参加できてよかった」とお話しただけなのがとても印象的でした。

一般財団法人メルディア
Meldia Foundation

MELDIA つなぐ

明るい未来の実現を目指して人と社会と福祉をつなぐ



次に続く「つながり」を

垣根のない社会をつくりたいと考えている私たちメルディアにとって、より多くの繋がりをつくり、考えに賛同いただき「自分らしい生き方」を一緒に支えていただける仲間には欠かせません。

今後も財団メルディアでは冊子の制作、直接支援、イベントの開催を行っていきます。

何かの形で協力できるかも、何が出来かわからないが話を聞いてみたい。そう思っていただけの方はぜひ一度ご連絡ください。

2022シーズン感動のホームラストゲーム!

編集スタッフが応援に行ってきました。
怒涛の攻撃に鉄壁の守備!
素晴らしいゲームで感動しました!

2023シーズンにも期待!!



たのしめるか。
Bellmare



療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、同行者の方1名を湘南ベルマーレのホームゲームに抽選でご招待いたします。



本ページにて募集の「湘南ベルマーレホームゲーム観戦チケットプレゼント」についてはリーグおよび、クラブの発表情報に合わせ、以下のURLにて詳細を随時お知らせいたします。

一般財団法人 メルディア HP <https://meldia.org/>

お問い合わせ先 一般財団法人 メルディア 事務局
org@gf-meldia.com



東京八王子ビートレイズ ホームゲーム観戦チケット プレゼント!!

お申し込み方法



◀こちらのQRコード (LINE) からお申し込みください。
その他、お問い合わせは「kojin-sponsor@trains.co.jp」までお問い合わせください。
試合日程を公式WEBからご確認のうえ、お申し込みください。

<https://trains.co.jp/>

東京八王子ビートレイズ
〒192-0904 東京都八王子市市安町3-6-7サザンエイトビル1F



湘南ベルマーレホームゲーム観戦チケットプレゼント

子どもたちに夢と未来を! -誰でも平等に夢を持ち、叶えることができる-

PRESENT

応募方法 右のQRコード*から必要事項をご記入の上、ご応募ください。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

2月28日締切

A 北川陽子さんの作品
「ポルカ ドット モビール」
1名様

B キットパス
ミディアム16色
1名様

C フランスベーカリー
オリジナルトートバッグ
1名様

D ガラス箸置き
1名様

E 折り紙セット
1名様

F うちの子、へん?
3名様

vol.53 MELDIA 2023 JAN

発行元 / 一般財団法人メルディア
 発行人 / 小池 信三
 事務局 / 榎本 喜明、鷲坂 浩章、永野 周平
 企画・編集・印刷 / 株式会社 ウィル・コーポレーション
 営業担当 / 矢口 千絵 (株式会社 ウィル・コーポレーション)
 C.ディレクター / 正木 弘 (株式会社 ウィル・コーポレーション)
 アシスタント / クレーシ・ミン (株式会社 ウィル・コーポレーション)
 撮影 / 菅原 大祐 (D-STUDIO)、浜田 泰介 (pindot studio)
 デザイン / 瀧美 真里子
 ライター / 前野 千保 (TCプランニング)、水口 陽子、吉澤 実祐 (ワーズ)、畠川 知紗
 協力 / MELDIA GROUP、株式会社 三栄建築設計、メルディアータルサポート上野、株式会社 華ひらく、Gallery&Cafe ジャック&豆の木、株式会社 ブックハウスカフェ、日本理化学工業株式会社、株式会社 扶桑社 ※敬称略/順不同

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、政府ならびに東京都によるガイドラインを遵守し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を十分に確保しながら取材を行っています。また、取材中はマスクやマウスシールドを装着のうえ、飛沫防止用のアクリル板などを設置し、適時に換気しながら取材を行っています。

広報誌MELDIA Vol.53/
2023年1月25日発行
本誌の無断転載・複製を禁じます。
2017-2023©All Rights Reserved.
一般財団法人メルディア / 広報誌MELDIA
MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計

次号予告
MELDIA
vol.54
2023年3月25日 発行予定

一般財団法人メルディア
〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア 事務局
TEL:03-5381-3213



Design Your Life
MELDIA
GROUP

同じ家は、つくらない。



広報誌 MELDIA VOL. 53 TAKE FREE

広報誌 MELDIA VOL. 53 2023年1月25日発行 (隔月1回25日発行) 第53号 通巻53号
発行元 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

三栄建築設計

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
<https://san-a.com>

OFFICIAL SNS



詳しくは、三栄建築設計公式サイトまで